

注3

大学番号：308

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

山梨学院大学 健康栄養学部 管理栄養学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人山梨学院
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局

職名・氏名 シチョウ 次長 シラトリ ヒトシ 白鳥 仁

電話番号 055-224-1400

F A X 055-224-1396

e-mail shiratori@ygu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

項目	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1~4
2 授業科目の概要	5~12
3 施設・設備の整備状況、経費	13
4 既設大学等の状況	14
5 教員組織の状況	15~21
6 留意事項に対する履行状況等	22~23
7 その他全般的事項	24~26

【添付資料】

ファカルティ・デベロップメント委員会規程

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人山梨学院

(2) 大学名

山梨学院大学

(3) 大学の位置

〒400-8575

山梨県甲府市酒折二丁目4番5号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フルヤ タダヒコ) 古屋忠彦 (昭和54年10月)		
学長	(フルヤ タダヒコ) 古屋忠彦 (昭和54年10月)		
学部長	(マツモト ハルミ) 松本晴美 (平成22年4月)		
学科長等	(マツモト ハルミ) 松本晴美 (平成22年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康栄養学部 管理栄養学科 学士(栄養学)	4年	40人	3年次10人	180人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	0 (-) [-]	40人 (-) [-]	0 (-) [-]	40人 (10) [-]	0 (-) [-]	40人 (10) [-]	0 (-) [-]	1.11倍	
志願者数	155 (-) [-]	(-) (-) [-]	213 (-) [-]	(-) (-) [-]	191 (3) [-]	(-) (-) [-]	174 (4) [-]	(-) (-) [-]		
受験者数	144 (-) [-]	(-) (-) [-]	210 (-) [-]	(-) (-) [-]	187 (3) [-]	(-) (-) [-]	171 (4) [-]	(-) (-) [-]		
合格者数	59 (-) [-]	(-) (-) [-]	65 (-) [-]	(-) (-) [-]	69 (2) [-]	(-) (-) [-]	73 (2) [-]	(-) (-) [-]		
B 入学者数	43 (-) [-]	(-) (-) [-]	45 (-) [-]	(-) (-) [-]	49 (2) [-]	(-) (-) [-]	42 (2) [-]	(-) (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.12		1.22		1.05			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 43	[-]	[-] 45	[-]	[-] 50	[-]	[-] 42	[-]	
2年次	/		[-] 42	[-]	[-] 43	[-]	[-] 50	[-]	
3年次			/		[-] 42	[-]	[-] 45	[-]	
4年次					/		[-] 42	[-]	
計			[-] 43	[-] 87			[-] 135	[-] 179	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	43人	3人	平成22年度	1人	0人	本学他学部への転部	0.1%
			平成23年度	2人	0人	就学意欲の低下	
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	45人	1人	平成23年度	1人	0人	本学他学部への転部	0%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	49人	0人	平成24年度	人	人		0%
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	42人	0人	平成25年度	人	人		0%
合計	179人	4人					0%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<健康栄養学部 管理栄養学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科目	哲学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1 +1	兼任講師の退職により、平成25年4月 から担当者変更(25)
	哲学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1 +1	兼任講師の退職により、平成25年4月 から担当者変更(25)
	倫理学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	倫理学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	文学Ⅰ	1-2-3-4前		2		1						
	文学Ⅱ	1-2-3-4後		2		1						
	日本の古典の世界Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	日本の古典の世界Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	歴史学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	歴史学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	東洋史Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	東洋史Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	東アジアの歴史と社会Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	東アジアの歴史と社会Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	現代日本文化と東アジアⅠ	1-2-3-4前		2							兼1	
	現代日本文化と東アジアⅡ	1-2-3-4後		2							兼1	
	論理学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	論理学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	音楽と文化Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	音楽と文化Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	考古学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	考古学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	古代学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	古代学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	平和学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	平和学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	法学(日本国憲法)	1-2-3-4後		2							兼1	
	経済学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	経済学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	社会学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	社会学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	人文地理Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	人文地理Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	政治学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	政治学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	文化人類学Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	文化人類学Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	現代政治思想論Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1	
	現代政治思想論Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1	
	学校と子どもⅠ 教育と大権Ⅰ	3・4前		2							兼1 +1	兼任講師の退職により、平成24年4月 から担当者及び科目名称変更(24)
学校と子どもⅡ 教育と大権Ⅱ	3・4後		2							兼1 +1	兼任講師の退職により、平成24年4月 から担当者及び科目名称変更(24)	
教育と社会Ⅰ	1-2-3-4前		2							兼1		
教育と社会Ⅱ	1-2-3-4後		2							兼1		
青年と社会	1-2-3-4前		2							兼1		
生活世界の探究	1-2-3-4後		2							兼1		
現代中国の政治	3・4前		2							兼1		
現代中国の社会・経済	3・4後		2							兼1		

総合基礎 教育科目	数学Ⅰ	1・2・3・4前		2						兼 1	
	数学Ⅱ	1・2・3・4後		2						兼 1	
	生物と環境Ⅰ	1・2・3・4前		2						兼 1	兼任講師の退職により、平成24年4月 から担当者変更(24)
	生物と環境Ⅱ	1・2・3・4後		2						兼 1	兼任講師の退職により、平成24年4月 から担当者変更(24)
	心理学Ⅰ	1・2・3・4前		2						兼 1	
	心理学Ⅱ	1・2・3・4後		2						兼 1	
	科学史Ⅰ	1・2・3・4前		2						兼 1	
	科学史Ⅱ	1・2・3・4後		2						兼 1	
	自然の探求Ⅰ	1・2・3・4前		2						兼 1	
	自然の探求Ⅱ	1・2・3・4後		2						兼 1	
	宗教と人間Ⅰ	3・4前		2						兼 1	兼任講師の退職により、平成25年4月 から担当者変更(25)
	宗教と人間Ⅱ	3・4後		2						兼 1	平成22年3月兼任講師の退職によ り、平成22年4月から担当者変更 (22)
	現代社会の病理と問題Ⅰ	3・4前		2						兼 1	兼任講師の退職により、平成25年4月 から担当者変更(25)
	現代社会の病理と問題Ⅱ	3・4後		2						兼 1	平成22年3月兼任講師の退職によ り、平成22年4月から担当者変更 (22)
	人間と科学Ⅰ	1・2・3・4前		2						兼 1	
	人間と科学Ⅱ	1・2・3・4後		2						兼 1	
	科学技術と環境問題Ⅰ	3・4前		2						兼 1	
	科学技術と環境問題Ⅱ	3・4後		2						兼 1	
	いのちの文化論	3・4前		2						兼 1	平成24年4月から科目名称を変更(24)
	いのちの文化論Ⅱ	3・4後		2						兼 1	
	現代科学論Ⅰ	3・4前		2						兼 1	
	現代科学論Ⅱ	3・4後		2						兼 1	
	ジェンダー論Ⅰ	1・2・3・4前		2						兼 1	
	ジェンダー論Ⅱ	1・2・3・4後		2						兼 1	
	海外文化研究	1前		4						兼 1	平成23年4月から教育課程の充実を 図るため、科目を追加(23)
	基礎演習	1通	2				3 -2-			兼 1	平成25年4月から教育内容の充実を 図るため、専任教員を追加(25)
情報処理演習Ⅰ	1前	1							兼 1	担当 谷内洋子(講師)	
情報処理演習Ⅱ	1後	1							兼 1	平成25年1月 教員審査済 判定可	
スポーツと健康Ⅰ	1通	2							兼 1		
外国語教育 科目	総合英語Ⅰ	1前		2			1			兼 7	
	総合英語Ⅱ	1後		2			1			兼 7	
	総合英語Ⅲ	2前		2			1			兼 7	
	総合英語Ⅳ	2後		2			1			兼 7	
	会話英語Ⅰ	1前		2						兼 2	平成22年3月兼任講師の退職によ り、平成22年4月から担当者変更 (22)
	会話英語Ⅱ	1後		2						兼 2	平成22年3月兼任講師の退職によ り、平成22年4月から担当者変更 (22)
	会話英語Ⅲ	2前		2						兼 2	平成22年3月兼任講師の退職によ り、平成22年4月から担当者変更 (22)
	会話英語Ⅳ	2後		2						兼 2	平成22年3月兼任講師の退職によ り、平成22年4月から担当者変更 (22)
	資格英語Ⅰ	1前		2						兼 1	
	資格英語Ⅱ	1後		2						兼 1	
	資格英語Ⅲ	2前		2						兼 1	
	資格英語Ⅳ	2後		2						兼 1	
	ドイツ語Ⅰ	1前		2						兼 1	
	ドイツ語Ⅱ	1後		2						兼 1	
	ドイツ語Ⅲ	2前		2						兼 1	
	ドイツ語Ⅳ	2後		2						兼 1	
	フランス語Ⅰ	1前		2						兼 1	
	フランス語Ⅱ	1後		2						兼 1	
	フランス語Ⅲ	2前		2						兼 1	
	フランス語Ⅳ	2後		2						兼 1	
中国語Ⅰ	1前		2						兼 1		
中国語Ⅱ	1後		2						兼 1		
中国語Ⅲ	2前		2						兼 1		
中国語Ⅳ	2後		2						兼 1		

専門教育科目	導入分野	食生活論	1前 1-2前 1前		2		1					通常開講 (24) 担当教員の病気療養のため、平成22年度分を平成23年度に開講 (22)	
		管理栄養士概論	1前		2			1	1			平成24年4月から教育内容の充実を図るため、担当教員を追加 (24) 担当 古閑美奈子 (講師) 平成23年9月 教員審査済 判定 可	
		基礎化学	1前		2					1			
		有機化学	1前		2					1			
		基礎生物学	1前		2								
		統計学演習	2前		1								
		医学概論	3前 2前		2		1						平成23年4月から教育課程の充実を図るため、教員を追加 (23) 担当 影山光代 (准教授) 平成22年9月 教員審査済 判定 可
	カウンセリング演習	1前		1								兼 1	
	社会環境と健康	社会福祉概論	1前		2								兼 1 兼任講師の退職により、平成25年4月1日から担当者変更 (25)
		健康の概念と行政、環境	2前		2								兼 1
		公衆衛生と疾病予防	3前 2後 3前		2								兼 1 平成25年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、配当年次を変更 (25) 平成23年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、配当年次を変更 (23)
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学 I	1後		2			1					
		解剖生理学 II	2前		2			1					
		臨床生理学実験 解剖生理学実験	4後 3後 2後		1			1 1			1		平成25年4月から教育内容の充実を図るため、科目名称の変更と担当教員を変更 (25) 担当 宮崎吉規 (教授) 川上 (吉野) 美香 (講師) 平成24年9月 教員審査済 判定 可
疾病の成り立ち I		3前		2			1					担当教員の病気療養のため、開講期を平成23年度後期から平成24年度後期に変更 (24)	
疾病の成り立ち II		4前		2			1						
生化学		2後		2					1			兼 1 平成23年9月から、専門領域の深化を図るため、兼任教員を追加 (23)	
生化学実験 I		3後 3前		1						1	1	平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、開講期を変更 (24)	
生化学実験 II		4前 3後		1						1	1	平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、配当年次を変更 (24)	
細胞生化学		3後 3前 4前		2						1		平成25年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、開講期を変更 (25) 平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、配当年次を変更 (24)	
臨床生理学 臨床生化学		4前		2			1 1			1		平成25年4月から教育内容の充実を図るため、科目名称の変更と担当教員を変更 (25) 担当 宮崎吉規 (教授) 川上 (吉野) 美香 (講師) 平成24年9月 教員審査済 判定 可 担当教員の病気療養のため、開講期を平成23年度後期から平成24年度後期に変更 (24)	

食 物 と 健 康	食品学総論	1後	2				1			<p>平成25年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、開講期を変更(25)</p> <p>兼1 兼1</p> <p>平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、開講期を変更(24)</p> <p>平成25年4月から職位を変更(25) 担当 藤井まさ子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可</p> <p>通常開講(24) 担当教員の病気療養のため、開講期を平成23年度前期から平成23年度後期に変更(23)</p>
	食品学各論	2前 2後	2			1				
	食品学実験	2前	1				1		1	
	食品加工学	2後	2			1				
	食品加工学実習	3前	1			1			1	
	調理科学	2前	2		1					
	基礎調理実習Ⅰ	1前	1						1	
	基礎調理実習Ⅱ	1後	1						1	
	応用調理実習	3後 3通	1		1				1	
	食事設計実習	1前	1			1	+		1	
	食品衛生学	1後	2			1				
	食品衛生学実験	2前 2後 2前	1			1			1	
基 礎 栄 養 学	基礎栄養学	1後	2				1		兼1	
	栄養学実験 基礎栄養学実験	2後 2前	1				1		1	
	代謝栄養学	2前 2後	2				1			
	応用栄養学Ⅰ	2前	2			1	1		兼1	
	応用栄養学Ⅱ	3前 2後 3前	2		1		1			
応 用 栄 養 学	応用栄養学Ⅲ	3後	2			1				
	応用栄養学実習	3前 2後	1				1		1	
	栄 養 教 育 論	栄養教育論	1後	2			1	+		
		栄養教育マネジメント	2前	2			1	+		
		栄養教育マネジメント実習	2後	1			1	+		1
栄養教育実践論		3前	2			1	+			
栄養教育実践実習		3前 3後 3前	1			1	+		1	

専門教育科目	臨床栄養学	臨床栄養学総論	2前	2		1	1			専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 〔担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可〕
		臨床栄養学総論実習	2後 2前	1			1	1	兼1	平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、開講期を変更(24) 平成23年9月から、専門領域の深化を図るため、兼任教員を追加(23) 専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 〔担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可〕
		臨床栄養学各論Ⅰ	2後	2			1			専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 〔担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可〕
		臨床栄養学各論Ⅱ	3前	2			1			専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 〔担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可〕
		臨床栄養学各論Ⅲ	4前	2			1			専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 〔担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可〕
		臨床栄養学各論実習	3前 2後	1			1	1	兼1	平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、配当年次を変更(24) 平成24年4月から、専門領域の深化を図るため、兼任教員を追加(24) 専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 〔担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可〕
	公衆栄養学	公衆栄養学	2後	2			1			
		公衆栄養マネジメント	3前	2			1			
		公衆栄養学実習	4前	1			1	1		
		給食経営管理論	2前	2			1			
給食経営管理論	給食計画・実務論	2前	2			1				
	給食運営実習	2後	1			1		1		
	給食経営管理論	3前	2			1				
	給食経営管理実習	3前	1			1		1		
総合演習	総合演習Ⅰ(学外実習事前・事後指導)	3通	1			1	2+		専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 〔担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可〕	
	総合演習Ⅱ	4前	1		+	2	+		平成25年4月から職位を変更(25) 〔担当 藤井まさ子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕 平成25年4月から教育内容の充実を図るため、担当教員を変更(25) 〔担当 影山光代(准教授) 平成24年9月 教員審査済 判定 可〕	
	校外実習(給食の運営)	2後	1			1		1		
臨地実習	臨地実習Ⅰ(公衆栄養学)	3後	1			1	1	1		
	臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	3後	1			1		1		
	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	3後	1			1		1	専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 〔担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可〕	

専門 教育科目	健康栄養特講	健康栄養特講 A (人体の構造と機能及び疾病の成り立ち)	4 後		2	1	+	1			平成25年4月から教育内容の充実を図るため担当教員を変更(25) 担当 宮崎吉規(教授) 名取貴光(講師) 平成24年9月 教員審査済 判定 可	
		健康栄養特講 B (食べ物と健康)	4 後		2			1	1			
		健康栄養特講 C (栄養学)	4 後		2				1	1		
		健康栄養特講 D (栄養管理)	4 後		2			1	+	+	平成25年4月から教育内容の充実を図るため、専任教員を追加(25) 担当 谷内洋子(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 平成25年4月から職位を変更(25) 担当 藤井まさ子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可	
		健康栄養特講 E (公衆栄養)	4 後		2					1		
		生化学Ⅱ	4 前		2					1	平成25年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(25) 担当 名取貴光(講師) 平成24年9月 教員審査済 判定 可	
		栄養学基礎英語	3 後 4 前	1						+	+	平成25年4月から教育内容の充実を図るため、専任教員を変更(25) 担当 谷内洋子(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、配当年次を変更(24)
		栄養管理海外研修	3 後		2			1		+	+	平成25年4月から教育内容の充実を図るため、専任教員を変更(25) 担当 谷内洋子(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 平成24年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(24) 担当 影山光代(准教授) 吉野美香(講師) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
		地域連携	やまなしの食	3 前	2			1			1	兼 1 平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、配当年次を変更(24) 平成25年4月から職位変更(25) 担当 藤井まさ子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 平成24年4月から、教育内容の系統の整備を図るため、配当年次を変更(24) 平成24年4月から教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(24) 担当 古閑美奈子(講師) 平成23年9月 教員審査済 判定 可
		地域の食と栄養活動実習Ⅰ(地域農畜産物活用)	3 後 3 後/4 前	1				1		-	-	
地域の食と栄養活動実習Ⅱ(地域食育活動)	4 前 3 後/4 前	1				1		-	-			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 68	科目 103	科目 0	科目 171	科目 68 [0]	科目 107 [4]	科目 0 [0]	科目 175 [4]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目<該当なし>

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目<該当なし>

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{171} = \boxed{0.00\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	0 m ²	67,000 m ²	0 m ²	67,000 m ²			
	運動場用地	0 m ²	113,632 m ²	0 m ²	113,632 m ²			
	小 計	0 m ²	180,632 m ²	0 m ²	180,632 m ²			
	そ の 他	0 m ²	37,943 m ²	0 m ²	37,943 m ²			
	合 計	0 m ²	218,575 m ²	0 m ²	218,575 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	山梨学院短期大学と 共用		
		20,441 m ² (20,441 m ²)	13,203 m ² (13,203 m ²)	3,707 m ² (3,707 m ²)	33,644 m ² (33,644 m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		39 室	32 室	8 室	9 室 (補助職員 4人)	2 室 (補助職員 1人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		申請学部全体	
		健康栄養学部			16 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学・短期大学 全体での共用分 図書318,667冊 〔64,980冊〕 学術雑誌（電子ジャー ナル含む） 2,897種〔310種〕 変更理由：図書、学術 雑誌（電子ジャーナル 含む）及び視聴覚資料 の整備、充実を図るた め。（24）（25）
	健康栄養学部 管理栄養学科	16,151〔736〕 (16,495〔744〕) (16,660〔746〕) 17,219〔746〕	27〔10〕 (24〔8〕) (25〔8〕) (46〔8〕)	14〔2〕 (12〔4〕) (14〔4〕)	9,546 (9,496) (11,977) (12,289)	2,584 (2,583)	12 (12)	
	計	16,151〔736〕 (17,219〔746〕)	27〔10〕 (46〔8〕)	14〔2〕 (14〔4〕)	9,546 (12,289)	2,584 (2,583)	12 (12)	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		3201.50 m ²		524	3,010,306			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		4,264 m ²		武道館 3008.77m ²				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	430千円	430千円	図書購入費	1,200千円	500千円	500千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	24,275千円	0千円	500千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,430千円	1,230千円	1,230千円	1,230千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、手数料収入等						

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山梨学院大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
法学部									
法学科	4年	250人	-	1,000人	学士（法学）	1.01倍	昭37	山梨県 甲府市 酒折二丁目 4番5号	
政治行政学科	4年	170人	-	680人	学士（政治行政学）	1.01倍	平3		
現代ビジネス学部									
現代ビジネス学科	4年	200人	-	800人	学士（商学）	1.01倍	昭40		
経営情報学部									
経営情報学科	4年	200人	-	800人	学士（経営情報学）	1.01倍	平6		
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
食物栄養科	2年	110人	-	220人	短期大学士	1.09倍	昭26	山梨県 甲府市 酒折二丁目 4番5号	
保育科	2年	150人	-	300人	短期大学士	1.16倍	昭34		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<健康栄養学部 管理栄養学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名			
専	教授	松本 晴美 (59)	平成22年4月	食生活論 調理科学 応用調理実習 応用栄養学Ⅱ ※ やまなしの食 食教育論 食育指導法 栄養教育実習指導 栄養教育実習 教職実践演習	専	教授	松本 晴美 (61)	平成22年4月	食生活論 調理科学 応用調理実習 応用栄養学Ⅱ ※ やまなしの食 食教育論 食育指導法 栄養教育実習指導 栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)	病気療養中のため、平成22年分については平成23年度に開講(22) 教職課程認定の結果により「教職実践演習(栄養教諭)」に科目名称を変更(22)		
専	教授	大神田 文二 (59)	平成22年4月	文学Ⅰ 文学Ⅱ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ								
専	教授	川上 隆史 (57)	平成22年4月	スポーツと健康Ⅰ								
専	教授	中島 久実子 (55)	平成22年4月	解剖生理学実験	専	教授	宮崎 吉規 (58)	平成25年4月	臨床生理学実験 ※	平成25年3月31日 中島久実子教授辞任(病気療養)のため平成25年度より授業科目名、担当者の変更(25) 平成24年9月教員審査済(25)		
					専	講師	吉野 美香 (35)					
				臨床生化学	専	教授	宮崎 吉規 (58)	平成25年4月	臨床生理学 ※			
					専	講師	吉野 美香 (35)					
				総合演習Ⅱ ※	専	准教授	影山 光代 (65)	平成25年4月	総合演習Ⅱ ※		平成25年3月31日	
健康栄養特講A (人体の構造と機能及び疾病の成り立ち)	専	教授	宮崎 吉規 (58)	平成25年4月	健康栄養特講A (人体の構造と機能及び疾病の成り立ち) ※	平成25年3月31日 中島久実子教授辞任(病気療養)のため平成25年度より授業科目内容、担当者の変更(25) 平成24年9月教員審査済(25)						
	専	講師	名取 貴光 (36)									
専	教授	宮崎 吉規 (55)	平成22年4月	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 疾病の成り立ちⅠ 疾病の成り立ちⅡ 臨床栄養学総論 ※	専	教授	宮崎 吉規 (58)	平成22年4月	医学概論 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 疾病の成り立ちⅠ 疾病の成り立ちⅡ 臨床栄養学総論 ※	平成23年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(23) 平成22年9月教員審査済(23)		
									臨床生理学実験 ※	平成25年4月	臨床生理学 ※	中島久実子教授辞任のため平成25年度より授業科目名、担当者の変更(25) 平成24年9月教員審査済(25)
									健康栄養特講A (人体の構造と機能及び疾病の成り立ち) ※			

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	影山 光代 (62)	平成22年4月	応用栄養学Ⅰ ※ 応用栄養学Ⅲ 給食計画・実務論 給食運営実習 給食経営管理論 給食経営管理実習 総合演習Ⅰ(学外実習事前・事後指導) ※ 校外実習(給食の運営) 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	専	准教授	影山 光代 (65)	平成23年4月	管理栄養士概論	平成23年4月から教育内容の充実を図るため担当教員を追加(23)平成22年9月教員審査済(23)
								平成22年4月	応用栄養学Ⅰ ※ 応用栄養学Ⅲ 給食計画・実務論 給食運営実習 給食経営管理論 給食経営管理実習	
								平成24年4月	栄養管理海外研修	平成24年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(24)平成24年1月教員審査済(24)
								平成25年4月	総合演習Ⅱ ※	中島久実子教授辞任のため平成25年度より授業科目内容、担当者の変更(25) 平成24年9月教員審査済(25)
専	准教授	仲尾 玲子 (56)	平成22年4月	食品学各論 食品加工学 食品加工学実習 食品衛生学 食品衛生学実験 健康栄養特講B(食べ物と健康) ※ 地域の食と栄養活動実習Ⅰ(地域農畜産物活用) ※						
専	講師	古関 美奈子 (35)	平成23年4月	応用栄養学Ⅰ ※ 応用栄養学Ⅱ ※ 応用栄養学実習 公衆栄養学 公衆栄養マネジメント 公衆栄養学実習 総合演習Ⅰ(学外実習事前・事後指導) ※ 臨地実習Ⅰ(公衆栄養学) 健康栄養特講E(公衆栄養)	専	講師	古関 美奈子 (37)	平成23年4月	応用栄養学Ⅰ ※ 応用栄養学Ⅱ ※ 応用栄養学実習 公衆栄養学 公衆栄養マネジメント 公衆栄養学実習 総合演習Ⅰ(学外実習事前・事後指導) ※ 臨地実習Ⅰ(公衆栄養学) 健康栄養特講E(公衆栄養)	
								平成24年4月	管理栄養士概論	平成24年4月から教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(24)平成23年9月教員審査済(24)
								平成24年4月	地域の食と栄養活動実習Ⅱ(地域食育活動)	平成24年4月から教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(24)平成23年9月教員審査済(24)
専	講師	名取 貴光 (33)	平成22年4月	基礎演習 基礎化学 有機化学 生化学 生化学実験Ⅰ 生化学実験Ⅱ 細胞生化学 食品学総論 食品学実験 健康栄養特講B(食べ物と健康) ※	専	講師	名取 貴光 (36)	平成22年4月	基礎演習 基礎化学 有機化学 生化学 生化学実験Ⅰ 生化学実験Ⅱ 細胞生化学 食品学総論 食品学実験 健康栄養特講B(食べ物と健康) ※	
								平成25年4月	健康栄養特講A(人体の構造と機能及び疾病の成り立ち) ※ 生化学Ⅱ	中島久実子教授辞任のため平成25年度より授業科目内容、担当者の変更(25) 平成24年9月教員審査済(25) 教育課程の充実のため授業科目を追加(25) 平成24年9月教員審査済(25)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専	講師	林 静子 (64)	平成23年4月	臨床栄養学総論 ※ 臨床栄養学総論実習 臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学各論Ⅱ 臨床栄養学各論Ⅲ 臨床栄養学各論実習 総合演習Ⅰ(学外実習 事前・事後指導) ※ 臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	専任補充の判定を受けたため、専任教員を追加(22) 担当 林 静子(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定可
専	講師	藤井 まさ子 (53)	平成22年4月	管理栄養士概論 食事設計実習 栄養教育論 栄養教育マネジメント 栄養教育マネジメント実習 栄養教育実践論 栄養教育実践実習 総合演習Ⅱ ※ 健康栄養特講D(栄養管理) 地域の食と栄養活動実習Ⅱ(地域食育活動)	専	准教授	藤井 まさ子 (56)	平成25年4月	食事設計実習 栄養教育論 栄養教育マネジメント 栄養教育マネジメント実習 栄養教育実践論 栄養教育実践実習 総合演習Ⅱ ※ 健康栄養特講D(栄養管理) 地域の食と栄養活動実習Ⅱ(地域食育活動)	昇格 平成25年1月教員審査済(25)
専	講師	吉野 美香 (32)	平成22年4月	基礎演習 代謝栄養学 栄養学基礎英語 健康栄養特講C(栄養学)	専	講師	吉野 美香 (35)	平成22年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成25年4月	基礎演習 基礎栄養学 代謝栄養学 栄養学基礎英語 健康栄養特講C(栄養学) 栄養学実験 栄養管理海外研修 臨床生理学実験 ※ 臨床生理学 ※	平成24年4月から教育内容の充実を図るため、科目名称の変更と担当教員を追加(24) 平成24年1月教員審査済(24) 平成24年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(24) 平成24年1月教員審査済(24) 中高久美子教授辞任のため平成25年度より授業科目名、担当者の変更(25)
					専	講師	谷内洋子 (36)	平成25年4月	基礎演習 栄養学基礎英語 栄養管理海外研修 健康栄養特講D(栄養管理)	新規採用 平成25年1月教員審査済(25)
兼任	教授	天沼 英雄 (58)	平成22年4月	教育と社会Ⅰ 教育と社会Ⅱ						
兼任	教授	和知 賢太郎 (58)	平成22年4月	法学(日本国憲法)						
兼任	教授	金子 元久 (61)	平成22年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	教授	香西 敏器 (61)	平成22年4月	論理学Ⅰ 論理学Ⅱ	兼任	教授	香西 敏器 (64)	平成22年4月 平成25年4月	論理学Ⅰ 論理学Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	平成25年3月、光木 明美 兼任講師の退職により、平成25年4月から担当者の変更(25)
兼任	教授	小菅 信子 (49)	平成22年4月	歴史学Ⅰ 歴史学Ⅱ 平和学Ⅰ 平和学Ⅱ						
兼任	教授	志村 欣一 (65)	平成24年4月	教育と人権Ⅰ 教育と人権Ⅱ	兼任	准教授	百瀬 光一 (48)	平成24年4月	学校と子どもⅠ 学校と子どもⅡ	平成24年3月、志村欣一兼任教授の退職により、平成24年4月から百瀬光一兼任准教授に変更(24)
兼任	教授	十菱 駿武 (65)	平成22年4月	考古学Ⅰ 考古学Ⅱ 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ	兼任	講師	十菱 駿武 (67)	平成24年4月	考古学Ⅰ 考古学Ⅱ 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ	

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	種田 茂 (58)	平成22年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ						
兼任	教授	内藤 統也 (43)	平成22年4月	数学Ⅰ 数学Ⅱ 自然の探求Ⅰ 自然の探求Ⅱ						
兼任	教授	仲尾 唯治 (60)	平成22年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 現代社会の病理と問題Ⅰ 現代社会の病理と問題Ⅱ いのちの文化論Ⅰ いのちの文化論Ⅱ	兼任	教授	仲尾 唯治 (62)	平成22年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 現代社会の病理と問題Ⅰ 現代社会の病理と問題Ⅱ いのちの文化論	平成24年4月から科目名称を変更(24)
					兼任	教授	原 百年 (43)	平成23年4月	海外文化研究	平成23年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加(23)
兼任	教授	松本 武彦 (54)	平成22年4月	東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ 東アジアの歴史と社会Ⅰ 東アジアの歴史と社会Ⅱ						
兼任	教授	熊 達雲 (56)	平成24年4月	現代中国の政治 現代中国の社会・経済						
兼任	教授	渡部 壮一 (55)	平成22年4月	政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 現代政治思想論Ⅰ 現代政治思想論Ⅱ						
兼任	准教授	塩沢 一平 (48)	平成22年4月	日本の古典の世界Ⅰ 日本の古典の世界Ⅱ 現代日本文化と東アジアⅠ 現代日本文化と東アジアⅡ	兼任	教授	塩沢 一平 (50)	平成22年4月	日本の古典の世界Ⅰ 日本の古典の世界Ⅱ 現代日本文化と東アジアⅠ 現代日本文化と東アジアⅡ	平成22年4月1日付職名変更(昇格)(22)
兼任	准教授	清水 智 (50)	平成22年4月	情報処理演習Ⅰ	兼任	教授	清水 智 (52)	平成22年4月	情報処理演習Ⅰ	平成22年4月1日付職名変更(昇格)(22)
兼任	准教授	森 幸也 (48)	平成22年4月	科学史Ⅰ 科学史Ⅱ 人間と科学Ⅰ 人間と科学Ⅱ 現代科学論Ⅰ 現代科学論Ⅱ	兼任	教授	森 幸也 (50)	平成22年4月	科学史Ⅰ 科学史Ⅱ 人間と科学Ⅰ 人間と科学Ⅱ 現代科学論Ⅰ 現代科学論Ⅱ	平成22年4月1日付職名変更(昇格)(22)
兼任	講師	アルバカーキ ALBUQUERQUE Alberto de Melo (41)	平成22年4月	資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ	兼任	講師	アルバカーキ ALBUQUERQUE Alberto de Melo (43)	平成22年4月	資格英語Ⅰ 資格英語Ⅱ 会話英語Ⅲ 会話英語Ⅳ	平成22年3月、宮川 Collette 兼任講師の退職により、平成22年4月から担当科目を追加(22)
兼任	講師	岡本 裕子 (56)	平成22年4月	情報処理演習Ⅱ 地域の食と栄養活動実習Ⅰ(地域農畜産物活用)※						
兼任	講師	木下 智恵 (39)	平成23年4月	応用栄養学Ⅰ※						
兼任	講師	志田 寿人 (70)	平成22年4月	基礎生物学						
兼任	講師	鈴木 忠義 (74)	平成23年4月	健康の概念と行政、環境 公衆衛生と疾病予防						
兼任	講師	舛重 正一 (72)	平成22年4月	基礎栄養学 基礎栄養学実験	兼任	講師	舛重 正一 (74)	平成22年4月	基礎栄養学 栄養学実験	平成24年4月から教育内容の充実を図るため、科目名称を変更(24)(再掲)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	長井 薫 (43)	平成23年9月	生化学	平成23年9月から専門領域の深化を図るため、担当教員を追加(23)
					兼任	講師	深澤 幸子 (62)	平成23年9月	臨床栄養学総論実習	平成23年9月から専門領域の深化を図るため、担当教員を追加(23)
								平成24年4月	臨床栄養学各論実習	平成24年4月から専門領域の深化を図るため、担当教員を追加(24)
兼任	講師	雨宮 哲夫 (52)	平成22年4月	音楽と文化Ⅰ 音楽と文化Ⅱ						
兼任	講師	鮎澤 信家 (65)	平成22年4月	生物と環境Ⅰ 生物と環境Ⅱ	兼任	講師	辻 政雄 (60)	平成24年4月	生物と環境Ⅰ 生物と環境Ⅱ	平成24年3月、鮎澤信家兼任講師の退職により、平成24年4月から辻政雄兼任講師に変更(24)
兼任	講師	石毛 径子 (46)	平成22年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	兼任	講師	石毛 径子 (48)	平成22年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ	担当科目を追加(23)
兼任	講師	小園 瑞恵 (50)	平成22年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ						
兼任	講師	小野 勝 (48)	平成22年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ						
兼任	講師	河野 誠哉 (41)	平成22年4月	青年と社会 生活世界の探究	兼任	准教授	河野 誠哉 (43)	平成22年4月	青年と社会 生活世界の探究	平成22年4月1日付、既設学部専任教員に採用のため職名変更(専任教員として新規採用)(22)
兼任	講師	木島 文彦 (62)	平成23年4月	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ						
兼任	講師	倉澤 一孝 (37)	平成22年4月	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 統計学演習						
兼任	講師	酒井 喜和子 (49)	平成22年4月	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ						
兼任	講師	島津 寛 (49)	平成22年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	講師	進藤 聡彦 (52)	平成22年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ						
兼任	講師	高橋 幸子 (56)	平成22年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ						
兼任	講師	高橋 智子 (51)	平成22年4月	科学技術と環境問題Ⅰ 科学技術と環境問題Ⅱ						
兼任	講師	田代 葉子 (45)	平成23年4月	資格英語Ⅲ 資格英語Ⅳ						
兼任	講師	茅根 美保 (44)	平成22年4月	文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ ジェンダー論Ⅰ ジェンダー論Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	土屋 耕治 (63)	平成22年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ					
兼任	講師	根津 美智子 (55)	平成22年4月	基礎調理実習Ⅰ					
兼任	講師	野澤 里栄 (40)	平成22年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ					
兼任	講師	野中 弘敏 (42)	平成22年4月	カウンセリング演習					
兼任	講師	ハルバーソン HALVERSON Edward (48)	平成23年4月	会話英語Ⅲ 会話英語Ⅳ	兼任	講師	ハルバーソン HALVERSON Edward (50)	平成22年4月	会話英語Ⅲ 会話英語Ⅳ 会話英語Ⅰ 会話英語Ⅱ
兼任	講師	マーク MARKLE David	平成22年4月	会話英語Ⅰ 会話英語Ⅱ					
兼任	講師	間宮 啓壬 (46)	平成24年4月	宗教と人間Ⅰ 宗教と人間Ⅱ	兼任	講師	福士 慈稔 (54)	平成24年4月	
					兼任	講師	望月 海慧 (50)	平成25年4月	宗教と人間Ⅰ 宗教と人間Ⅱ
兼任	講師	光木 明美 (56)	平成22年4月	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	兼任	教授	香西 敏器 (64)	平成25年4月	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ
兼任	講師	宮川 Collette (41)	平成22年4月	会話英語Ⅰ 会話英語Ⅱ 会話英語Ⅲ 会話英語Ⅳ	兼任	講師	ハルバーソン HALVERSON Edward (50)	平成22年4月	会話英語Ⅰ 会話英語Ⅱ
					兼任	講師	アルブケル ALBUQUERQUE Alberto de Melo	平成22年4月	会話英語Ⅲ 会話英語Ⅳ
兼任	講師	三輪 是法 (46)	平成22年4月	倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ					
兼任	講師	森井 美保 (37)	平成22年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ					
兼任	講師	山崎 達夫 (45)	平成22年4月	人文地理Ⅰ 人文地理Ⅱ					
兼任	講師	横山 順一 (39)	平成22年4月	社会福祉概論	兼任	講師	樋川 隆 (56)	平成25年4月	社会福祉概論
兼任	講師	依田 萬代 (57)	平成22年4月	基礎調理実習Ⅱ					

※オムニバス形式

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○学部 △学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
5	2	4	0	11	4	3	5	0	12		
()	()	()	()	()	[Δ]	[1]	[1]	[]	[1]	67歳	0名

- (注) ・ 「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	—————	傷病の発症により手術を受けましたが、術後、授業を担当するのに必要な体力等の回復が十分でないことを理由に退職届が提出されました。
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

管理栄養士養成コアカリキュラムの「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」の教育目標をもとに、担当予定教科目の「臨床生化学」は「臨床生理学」に、「解剖生理学実験」は「臨床生理学実験」に変更し、「疾病時の栄養生理学的な特徴を、組織の機能に基づいて理解できるようにする」内容に変更致しました。また、総合演習Ⅱは、教育目標である「専門分野で学習した知識を基礎として、総合的に栄養評価や栄養管理を行うための能力を養う」に合わせて、—————の担当内容の「代表的な疾患の臨床検査値ならびに病態を正確・迅速に読み取るために、栄養管理の根拠となる臨床生化学について総合的に学習する」を、「身体計測の技術を習得するとともに、臨床検査値をもとに、対象者の病態や栄養状態を正確・迅速に読み取り、アセスメントと栄養計画の作成ができる力を養う」に変更いたしました。担当教員については、昨年度の健康栄養学部設置計画変更書（AC教員審査）において3人の専任教員の担当とすることで「可」の判定をいただいております。教育内容、担当教員を精査しており、教育目標の達成に支障はないと考えております。学生への周知は、履修対象学年である4年生と変更が適用となる2、3年生に対して4月の履修ガイダンス時に説明を行いました。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(21年10月)</p>	<p>1. 学生への指導が十分実施できるよう、講義や実習の質の確保に努めるとともに、その指導体制について不断の検証を行うこと。</p>	<p>授業の質の確保、指導体制などのFDへの取組みは、以下のように履行している。</p> <p>①授業内で適宜小テストを行い、到達目標に対する到達度の確認と検証を行っている。</p> <p>②学生の授業評価も適宜行い授業の改善に努めている。</p> <p>③教育目標に対する担当授業の位置づけをシラバスで確認している。</p> <p>④他の授業との関連性、今後の学習の方向性を提示している。(22)</p> <p>授業の質の確保、指導体制の検証は、以下のように履行している。</p> <p>①シラバス作成時に関連分野の教員で各授業の教育目標、教育内容を確認している。</p> <p>②学生による授業評価に基づいて授業改善に努めている。</p> <p>③授業内で小テストを行い、到達目標に達していない学生に対して別途補習授業を設けて学力の向上を図っている。</p> <p>④実験・実習を通して、講義内容の理解の深化と技術の習得を図るとともに、応用力、創造力を養っている。(23) (24) (25)</p> <p>⑤学外実習の指導を通して、専門的な知識・技術に基づく総合的能力を養うとともに、実習施設との緊密な連携により現場での実践力の養成に努めている。(24) (25)</p> <p>⑥4年間の教育成果について専門教科実力試験を実施し、学力が目標に到達していない教科目に対しては補習による指導体制を構築し、学力確保に努めている。(25)</p>	
	<p>2. 専任教員の補充を必要とされた8授業科目については、科目開設時までに確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>平成22年1月教員審査 (AC)において、8 授業科目を担当する専任教員の判定が「可」となったため、科目開設時までに確実に専任教員を配置する。(22)</p> <p>8 授業科目の担当には、すでに判定が「可」となった専任教員を本年度から配置している。(23)</p>	

設置計画履行状況 調査時 (□□年□□月)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調査時 (●●年●●月)	「該当なし」		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<健康栄養学部管理栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 施設・設備 204調理実習室 (237, 60㎡)	① 学生の修学環境（衛生面、安全面）を改善するため同一法人が設置する山梨学院短期大学との共有施設である204調理実習室の一部設備（調理実習台等）を改修した。 なお、同施設の設置面積（237, 60㎡）及び用途については、認可時の計画から変更はない。(25)

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>【全学的なFD活動】</p> <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>授業改善、教育改善などのFDへの取組みについては、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会が中心となって全学的に検討している。【FD委員会規程】(22) (23) (24) (25)</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成21年度は7回実施された。（既設学部）(22)</p> <p>平成22年度は8回実施され、本学部を含め4学部5学科から各1～2名の委員（委員長、副委員長を除く）が出席した。(23) (24)</p> <p>平成24年度は7回実施された。(25)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の資質向上に向けた諸施策の企画・立案及び関連する情報の収集 (23) (24) (25) ・ 教職員の研修に関する企画・実施・支援 (23) (24) (25) ・ 学生による授業評価アンケートの企画・実施・結果の分析及びフィードバックに関する事項 (23) (24) (25) <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会は、授業評価アンケートを実施するほか、授業開放による教員相互の情報交換や研修を実施して教育改善方策等が共有できるように工夫している。(22) (23) (24) (25)</p> <p>FD委員会が作成した各期の授業アンケート結果報告書に基づいて、学部内で授業方法についての研修会を実施した。(23) (24) (25)</p> <p>全学部教員参加のFD研修会に本学部教員が参加し、授業方法に関する研修を行った。(24) (25)</p> <p>新任教員に対して学部長、関連教科担当教員による授業参観を実施し、改善に向けた助言を行った。</p> <p>b 実施方法</p> <p>授業評価アンケートは、年間2回に分けて行われている。アンケートの内容は、大学教育改革委員会で検討され、全学的に合意が得られたものを使用している。また、実施に当たっては手順を共通化し、用紙の回収は職員が行うなど厳正に行われている。</p> <p>授業間での相互連携を深めるための共通テキストの執筆など各学部学科独自の取組みも行われている。よって、本学部についても既設学部準じた方法で実施する予定である。(22)</p> <p>前期・後期の各授業終了時に授業評価アンケートを実施した。アンケートの内容は、FD革委員会で検討され、全学的に合意が得られたものを使用している。また、実施に当たっては手順を共通化し、用紙の回収は職員が行うなど厳正に行われている。(23) (24)</p> <p>前期の授業終了時に授業評価アンケートを実施した。アンケートの内容は、FD革委員会で検討され、全学的に合意が得られたものを使用している。また、実施に当たっては手順を共通化し、用紙の回収は職員が行うなど厳正に行われている。(25)</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

授業方法についての研修会は学部内で2回実施し、全教員が参加した。（22）（23）（24）（25）

授業方法についての全学FD研修会は1回実施し、多くの教員が参加した。（24）（25）

新任教員に対する授業参観は、各期1回ずつ実施した。（23）（24）

新任及び就任2年目の教員に対する授業参観は、後期各1回実施した。（24）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートの集計結果は、大学教育改革委員会を通して、個人データが各教員にフィードバックされ、各教員が自身の授業改善に役立てている。本学部についても同様の取り組みを予定している。（22）

授業評価アンケートの集計結果は、FD委員会を通して、個人データが各教員にフィードバックされ、各教員が自身の授業改善に役立てている。各期には、FD委員会が作成した授業アンケート結果報告書を基に学部内で研修会を実施し、改善課題と改善方法について討議し、授業改善に繋げている。（23）（24）（25）

【学部独自のFD活動】

健康栄養学部では、学部独自のFDへの取組みとして、授業技術や学生相談援助技術の向上を目指した研修会を年に1～2回実施していく予定である。（22）（23）（24）（25）

健康栄養学部では、専門教育に関連する非常勤講師との教育懇談会を行い、学生の教育についての理解を深め授業改善の一助としている。（24）（25）

③学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年間2回実施している。実施時期は前期が6月第4週、後期が12月第1週である。（22）（23）

b 教員や学生への公開状況、方法等

教科毎のアンケート結果は担当教員に文書で伝えられ、今後の教育活動の改善・充実のためのPDCAシートを提出することとしている。各学部の項目平均点は全学教員に文書で公開され、その結果に基づいて研修会を実施している。学生への公開は行っていない。（23）（24）（25）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

新設学部につき現時点での本項目に該当する事項はないが、今後随時実施する予定である。（22）

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新設学部につき現時点での評価・所見なし。（22）

・教育上の目的である地域貢献の使命と誇りを持った管理栄養士の育成を目指して、基礎演習において「山梨県の郷土料理・農畜産物の実態調査」を実施した。実践的な活動を通して主体性や課題解決能力を育成するとともに、地域社会の食生活と健康の向上に貢献しようとする資質を養った。（23）

・教育上の目的である地域貢献の使命と誇りを持った管理栄養士の育成を目指して、1年生については、基礎演習において「山梨を中心とする中部地方の「食」産業と郷土料理の紹介」を実施した。また、食育ボランティアとして「県民健康公開講座」をはじめとする山梨県内における食と健康に関する取り組みへの参加を引き続き行った。さらに、給食作成や幼稚園での実習を通して、現場での実践力・応用力の養成をおこない、報告会を開催することで学生の能力の定着を確認した。（24）

・教育の質の確保と学生の理解度に基づいた学力向上のための取り組みとして、2月から3月の2週間、後期授業のうち専門科目5教科の補習を行い、理解度の向上、知識の定着において成果を得た。（23）

・教育の質の確保と学生の理解度に基づいた学力向上のための取り組みとして、1年生は3月の1週間、後期授業のうち専門科目5教科の補習を行い、2年生は9月の2週間、前期授業のうち専門科目10教科、3月の1週間、後期授業のうち専門科目8教科の補習を行い、理解度の向上、知識の定着において成果を得た。（24）

・教育の質の確保と学生の理解度に基づいた学力向上のための取り組みとして、1年生は3月の1週間、後期授業のうち専門科目5教科の補習を行い、2年生は9月の2週間、前期授業のうち専門科目10教科、3月の1週間、後期授業のうち専門科目8教科の補習を行い、3年生は3月の初旬に専門分野10領域の実力試験を行い、その後2週間、模擬試験と自主学習により、理解度の向上、知識の定着において成果を得た。（25）

・山梨県との健康と栄養にかかわる研究活動として、健康増進課と連携して「県民健康公開講座」を2回実施した。生活習慣病や高齢期の低栄養に対応したセミナー・ダイエットの栄養指導・生活指導を行い、参加者から高い評価を得た。山梨県総合農業技術センター高冷地野菜・花き振興センター野菜作物課と連携して「ツリガネニンジンの花の利用法」を検討し、活用の可能性を認めた。（23）

・山梨県との健康と栄養にかかわる研究活動として、健康増進課と連携して「県民健康公開講座」を1回実施した。生活習慣病や高齢期の低栄養に対応したセミナー・ダイエットの栄養指導・生活指導を行い、参加者から高い評価を得た。（24）

・山梨県との健康と栄養にかかわる研究活動として、健康増進課と連携して「県民健康公開講座」を1回実施した。生活習慣病や高齢期の低栄養に対応したセミナー・オーダーメイドの栄養指導・生活指導を行い、参加者から高い評価を得た。さらに、学生の総合的実践力を育成するための社会活動として、肝疾患に関する学習を基礎として、「肝疾患のための食事管理のポイント・レシピ集」の作成および報告会を行い、北杜肝友会、山梨県健康増進課、山梨県肝疾患診療連携拠点病院連携協議会、肝疾患患者の方々から好評を得た。(25)

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

新設学部につき現時点での報告書なし。(22)

平成23年6月 公表（予定）(23)

平成24年7月 公表（予定）(24)

平成25年7月 公表（予定）(25)

b 公表方法

新設学部につき現時点での該当なし。

なお、当該学部以外の既設学部（大学全体）についてはホームページにて公表している。(22)

平成22年度に作成した自己点検評価報告書を、ホームページ上に公表する予定である。(23)

平成22年度作成分はホームページ上に公表した。平成23年度に作成した自己点検評価報告書も、ホームページ上に公表する予定である。(24)

平成23年度作成分は6月に学内専用ネットワーク上に公開した。平成24年度作成の自己評価報告書も、ホームページ上に公表する予定である。(25)

③ 認証評価を受ける計画

未定

※平成21年度 日本高等教育評価機構による認証評価受審

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4)情報公表に関する事項

○設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成25年6月1日)